

1. 清水港利用促進協会の概要

昭和30年に設立され64年の歴史を有する協会です。以来、清水港で港湾事業に従事する民間企業・団体46会員と清水港管理者である静岡県及び静岡市の三者で、国際拠点港である「清水港」の利用／活用を官民一体となって進めています。

2. 令和元年度今後と令和二年度の主要な活動

1) セミナー開催日決定、輸出入荷主、船会社、及びRORO船国内貨物の利用者向け概況説明

令和元年 7月26日(金) 甲府市 “清水港／富士山静岡空港セミナー2019” in ベルクラシック甲府

令和元年 11月 1日(金) 東京都 “首都圏清水港セミナー” in 帝国ホテル

令和2年 2月 20日(木) 浜松市 “西部地区貿易懇談会” in グランドホテル浜松

2) 清水港物流視察会【開催日】実際の清水港を“見て聞いて”がテーマ

清水港概要説明／税関業務の解説／コンテナターミナルの機能等のセミナー、及び海上から清水港コンテナ船荷役を視察 令和2年度も、「清水港物流視察会」を年3回～4回開催します。

対象地域: 静岡県全域、関東甲信地域に所在する荷主企業、団体

セミナー : 清水港の利便性、スピード感を説明致します。

現場視察: 清水港の特性を示す現場を検証して頂きます。

【検索：清水港物流視察会】

3) 静岡県 Port Sales Team による企業・団体訪問

企業・団体への清水港視察会、利活用説明会のお誘いを目的に関東甲信地区の企業・団体を訪問、その内容を分析し、清水港の機能のみならず周辺道路の利便性、トラックドライバーなど労働力不足、BCPの解決策を発信し続けています。

4) 『清水港利活用説明会』

令和2年 3月 17日(火) 佐久市佐久平交流センター(第5会議室) 13:30 から

アクセス／交通環境、及び危機回避の為にBCP対応について

清水港の“強み”を説明します。

新設備／施設 : ①新清水物流センター ②新(重量物対応)梱包センター

③新興津国際センター

サービスの改善 : 植物検査場と隣接する燻蒸庫

貨物インセンティブ : コンテナ航路誘致委員会にて来年度も鋭意検討中

「清水港利活用説明会」にて説明、解説と利用事例を紹介しています。

☆次ページの申込書に記載いただき、メールまたはFAXにてお申込み下さい。

佐久市役所と共催し、佐久商工会議所、上田商工会議所、長野商工会議所、小諸商工会議所の後援を戴いております。



清水港利活用説明
会200317チラシ案1: